

生 *Seikatsu Bunkashi* 史 生活文化史

<史料館だより>

- ◇深江文化村・古澤家住宅の解体と展示…………… 大国 正美 (2)
- ◇予約図書サービス、過去最多更新…………… (6)
- ◇深江文化村ゆかりの音楽家の演奏記録について…………… 有吉 康德 (7)
- ◇深江文化ハウス居住者健在…………… 有吉 康德 (9)
- ◇江戸時代の正寿寺 (2)
戦禍・震災を免れた梵鐘…………… 大国 正美 (11)
- ◇深江の心象風景 (4)
深江周辺の風景…………… 岡田 茂義 (16)
- ◇史料館日誌抄・資料寄贈者ご芳名…………… (20)
- ◇田中邦彦画伯の懐かしの風景画…………… 道谷 卓 (21)

2024.3.31
NO.52

解体された国登録有形文化財・古澤家住宅の階段の親柱と手すり。一部が史料館で展示されている。親柱の丸い彫り込みや手すりの金目地風の装飾はビザンチン文化の影響を受けた色遣いとされる。設計したのは、ウクライナのキーウ工科大学で建築学を学んだロシア人、ラディンスキー。ロシア革命の後、亡命して神戸の外国人居留地の明海ビルディングで事務所を開き、深江文化村の古澤家住宅の南側に邸宅を構えた(2~6頁参照)。



神戸深江生活文化史料館



図⑧ 新在家の運河

開業したROKKOS(ヴァントワ)の一部として利用されたが、これも阪神・淡路大震災で倒壊してしまっただ。今回の展示では、画伯の九点の作品を展示したが、このほかにも多くの絵画を遺族から寄贈

⑧「新在家の運河」の作品に描かれた木造の酒蔵は、大黒正宗の銘柄で知られる安福又四郎商店の蔵である。この木造蔵も阪神・淡路大震災で倒壊しており、描かれた年代は不明であるが、阪神・淡路大震災前の作品である。大黒正宗は、今でもこの場所の一部で日本酒を販売するが、蔵の建って行つた敷地は商業施設に変わっている。

⑨「小泉製麻」は、一八九〇年(明治二十三)六月創業の小泉製麻株式会社(創業時は有限責任会社都賀浜麻布会社)の本社屋として使用されてきた木造二階建ての建物を描いている。この建物はその後、一九九一年(平成三)年に商業施設として

していただいている。史料館では、今後、これらの作品を順次展示していこうと考えている。その際、描かれた場所と年代が特定できるものについては、現在の様子を写真に撮り、定点観測ができるような展示を行う予定である。



図⑨ 小泉製麻(旧本社)

◆研究員の水口千里さん死去 水口千里さんが二〇二三年六月二日病気のため死去した。水口さんは民俗学専攻。『本庄村史 地理編・民俗編』(二〇〇四年)の「神戸深江生活文化史料館について」を執筆、資料の概要や展示解説、史料館の今後の展望を示した。また史料館の展示解説『まちの歴史とくらし』(二〇〇五年)も中心になって編纂した。

編集 生活文化史 第52号 2024.3.31
 編 集 大國正美
 発行 神戸深江生活文化史料館
 〒658-0021 神戸市東灘区深江本町3-5-17
 ☎ 078-4531-4980
<http://fukae-museum.la.coocan.jp/>